

通告番号 番

前
平成26年9月1日 午 時 分 受 領
後

氏 名 小田桐 たかし ⑩

流山市議会議長 海老原 功一 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 2 回定例会における一般質問を下記のとおり通告します。

質問事項	要旨 (質意を明確、具体的に)
1、市長の政治姿勢について	(1) 福島第1原発事故から3年半。拡散した放射性物質の影響は、市民生活や経済活動、行政運営など様々な課題を経験したことから、本年5月21日、福井地方裁判所の関西電力大飯原発の再稼働差し止め判決に、私は強く共感するが、市長の見解を問う。 (2) 原発再稼働をめぐって、北海道函館市が提訴し、静岡県湖西市など市長を先頭にした再稼働への反対世論が拡大している。放射能ホットスポットの大変さを痛感した市として、再稼働反対の一点で全国の首長と連携すべきと考えるが市長の見解を問う。
2、放射能対策について	(1) 手賀沼下水道終末処理場に持ち込み、一時的に保管していただいている本市の放射性焼却灰の保管期日があと半年と迫る中で、どう対応されるのか。 (2) 子どもの甲状腺エコー検査について、福島県内の結果や松戸市の取り組みをどう把握しているのか。
3、地域経済の活性化について	(1) わが党は『流山元気サイクル』を提唱し、地域内での経済循環を強め広げるための政策を過去、提案してきたが、市長としてのこれまでの取り組みをどう総括し、今後の市政運営に活かすのか、市長に問う。 (2) 以前、市長が提唱された『儲かる農業』とはなんだったのか、これまでの成果と今後どのように進めるのか。 (3) マンション政策と地域経済の活性化を一体で進めるための取り組みについて。 ア) 戸建住宅の耐震診断・耐震改修への助成制度を分譲マンションへも対象を拡大すべきではないか。 イ) 管理組合が管理している集会室の修繕・改修時へ市補助を創出し、自治会やコミュニティ活動の促進と一体で市内の仕事確保につなげるべきではないか。
